

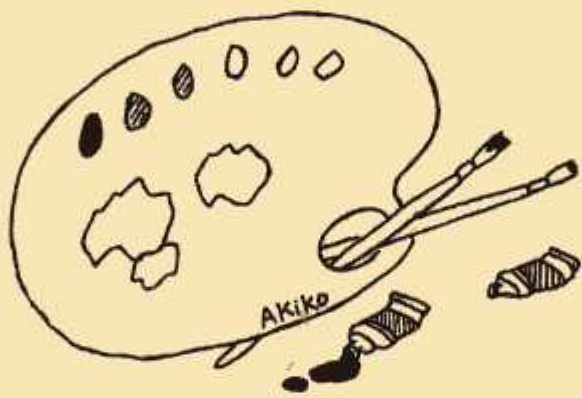
Meiji Univ. Harmonica Society
No.122 Regular Concert

Stay Gold



1993.6.12.(Sat.)

at Asahi Seimei Hall



ごあいさつ



部長 北島 忠男

都会も邑も新緑への衣替えがすっかりすんで、初夏の装いのなか、明治大学ハーモニカ・ソサエティーは、今年も、無事、春の定期演奏会を迎えることができました。

今年は、バブル後遺症が長引いて、4年生の就職戦線も苦戦が強いられそうです。バブルとは、そのものの値段が、その価値を決定するファンダメンタルスによって説明できる水準から大きくかけ離れて膨らみ過ぎた部分をいいます。経済の世界ではバブルの発生は経済の異常な姿を表します。

明大ハモソは、今年も多数の新入部員を迎え、着実に音楽演奏に努めてきました。そこでは、まず、音楽のファンダメンタルスを極めることが大切ですが、その上に、予想を超えた華麗な幻想や幽玄な境地を創造することがより大切なことになると思います。音楽の世界では、こうしたバブルこそが音楽を聴く人々に感銘を与えるのではないのでしょうか。

本日ここにご来場の皆様、ハモソの音楽で今宵の一刻をお楽しみ頂けますように、また、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようにと、心からお願い申し上げます。



OB会会長 浅野 芳昭

テレビから音楽番組が消えましたといったら大袈裟でしょうか。最近視る機会がぐんと減りました。カラオケブームの影響でしょうか。場末のスナックで握るマイク、聴く人がいようがいまいが自分だけの世界に浸っている人が増えました。

音楽のジャンルによっては鑑賞するより実演する方が楽しいに決まっています。最近大正琴の合奏が静かなブームと聞きました。中年女性がお揃いのユニフォームで合奏する姿はなかなかのものです。何と大正琴の楽譜は数字譜でした。年配の方、古いOBの方には懐しいあのハーモニカの数字符と全く同じです。そのうち中年女性に混ってハーモニカとの合奏に挑戦したいと思っています。

御来場の皆様、ハモソの演奏は体全体で聴いて下さい。ステージに登らなくても客席でハモソの情熱を感じて下さい。一緒にお楽しみしましょう。



幹事長 石島 幹夫

本日は、明治大学ハーモニカ・ソサエティー第122回定期演奏会に御来場頂き、誠に有難うございます。

今夜、私達が122回目の演奏会を開催出来るのも、ハモソにかかわり、その時々で輝かしい歴史を刻んで下さった先輩方と、今夜御来場の皆様のおかげであります。

当クラブでは、今年も新入部員を多数迎えることが出来ました。今夜のステージは、彼らにとっては初舞台となり、我々4年生にとっては引退のステージとなります。引退していく者のまた、初舞台を踏む者の様々な想いを理解していただけたら幸いです。

今後もハモソが輝いた場所であって欲しいという想いと、皆様の心の中で今夜のステージが輝き続けるようタイトルを「Stay Gold」としました。皆様の心に響くよう部員一同、精一杯演奏致しますので、お聴き下さい。

最後になりましたが、当演奏会の開催にあたり、御指導・御支援下さいました諸先輩、関係者の方々、並びに御来場の皆様の御支援に厚く御礼申し上げます。



1st Stage

1. 愛より青い海

Music : 上々颯風

Arr. : 三井 祐樹

2. Top Of the World

Music : Carpenters

Arr. : 石川 光佳

3. Tico-Tico

Music : Zequinha Abreu

Arr. : 三瓶 正浩

4. OSHI-TAO-SHITAI

Music : 角松 敏生

Arr. : 見目 徹

5. AI NO CORRIDA

Music : Quincy Jones

Arr. : 森 修

6. Traveling Boy

Music : 白鳥 英美子

Arr. : 石川 光佳



2nd Stage

アンサンブル

ONE AND ONLY

Sugar Sweet

Georgia On My Mind

Duo 1991

いとしのエリー

Bugler's Holiday



クインテット

口笛吹きと犬

星条旗よ永遠なれ

Member

C. H. : 森 修

C. H. : 石川光佳

Alto : 三井祐樹

Bass : 根本智広

Chord : 鈴木貴裕

